

2 GP-Pro EX の ご利用にあたって

この章では、GP-Pro EX のご利用にあたって、(株)デジタル製 GP-PRO/PBIII for Windows のプロジェクトファイルを GP-Pro EX 用のファイルに変換するために必要な「互換情報」、「プロジェクトコンバータの操作方法」と、ソフトウェアやマニュアルなどの更新方法について説明します。

2.1	Pro-face® ソフトウェアとの互換性について.....	2-2
2.2	ソフトウェアの更新方法.....	2-19

2.1 Pro-face® ソフトウェアとの互換性について

ここでは、(株)デジタル製 GP-PRO/PBIII for Windows で作成したプロジェクトファイル(*.prw)を GP-Pro EX のプロジェクトファイル(*.prx)に変換(コンバート)するために必要な互換情報と、プロジェクトコンバータの操作方法を説明します。

- 重要**
- GP-PRO/PBIII for Windows と GP-Pro EX との互換性に関する情報、制限事項については GP-Pro EX のサポート専用サイト「おたすけ Pro!」を合わせてご覧ください。

URL <http://www.proface.co.jp/otasuke/>

ここをクリック!

2.1.1 変換できるソフトウェアのバージョン

GP-PRO/PBIII for Windows Ver.1.0 から Ver.7.0 までのバージョンのソフトウェアで作成されたプロジェクトファイル(*.prw)と、付随するデータ一式を変換します。

- 重要**
- GP-PRO/PBIII for Windows Ver.7.1、Ver.7.2 で作成されたプロジェクトファイル(*.prw)は、ソフトウェアの各バージョンにて追加された機能を除いて変換されます。

2.1.2 変換前、変換後の GP 機種名一覧

GP-PRO/PBIII for Windows で作成されたプロジェクトファイル(*.prw)上の [GP タイプ] (機種名を示していました) は変換後、[表示器タイプ] という名称に変わり、機種名も変更になります。対応機種は GP70/77R/2000 シリーズと ST400 シリーズです。

- 重要**
- ST403/GLC/LT/Factory Gateway には対応していません。
 - GP-PRO、GP-PRO 、GP-PRO 、GP-PRO/PB (DOS 版)、Parts Box で作成されたプロジェクトファイルは、GP-PRO/PBIII for Windows にて画面データを *.prw に変換した上で GP-Pro EX のプロジェクトコンバータを実行してください。

☞ GP-PRO/PBIII for Windows オペレーションマニュアル「第 12 章 従来データの利用」

GP77/77R シリーズ

変換元			変換先			
シリーズ名	型式	GP タイプ	表示器タイプ			
GP70 シリーズ	GP-H70 シリーズ	GP70-LG11-24V	GPH70L	AGP-3301L ¹		
		GP70-LG41-24VP				
		GP70-SC11-24V	GPH70S		AGP-3301S ¹	
		GP70-SC41-24VP				
	GP-270 シリーズ	GP270-LG11-24V	GP270L	AGP-3301L		
		GP270-LG21-24VP				
		GP270-LG31-24V				
		GP270-SC11-24V	GP270S		AGP-3301S	
		GP270-SC21-24VP				
		GP270-SC31-24V				
		GP370-LG11-24V				GP370L
	GP370-LG21-24VP					
	GP370-LG31-24V					
	GP370-LG41-24VP					
	GP-370 シリーズ	GP370-SC11-24V	GP370S	AGP-3301S		
		GP370-SC21-24VP				
		GP370-SC31-24V				
		GP370-SC41-24VP				
	GP-470 シリーズ	GP470-EG11			GP470	AGP-3500T ²
		GP470-EG21-24VP				
		GP470-EG31-24V				
	GP-570 シリーズ	GP570-SC11	GP570	AGP-3500T		
		GP570-SC21-24VP				
		GP570-SC31-24V				
		GP570-TC11				
		GP570-TC21-24VP				
		GP570-TC31-24V				
GP57J-SC11						
GP570-TV11		GP570VM	AGP-3500T ³			
GP-571 シリーズ	GP571-TC11	GP571T	AGP-3500T			
GP-675 シリーズ	GP675-SC11	GP675	AGP-3600T			
	GP675-TC11					
	GP675-TC41-24VP					
GP-870 シリーズ	GP870-PV11	GP870VM	AGP-3500T ³			
GP-377 シリーズ	GP377-LG11-24V	GP377L	AGP-3300L			
	GP377-LG41-24V					
	GP377-SC11-24V	GP377S		AGP-3300S		
	GP377-SC41-24V					
GP-377R シリーズ	GP377R-TC11-24V	GP377R	AGP-3300T			
	GP377R-TC41-24V					
GP77R シリーズ	GP-477R シリーズ	GP477R-EG11	GP477R	AGP-3500T		
		GP477R-EG41-24VP				
	GP-577R シリーズ	GP577R-SC11	GP577R			
		GP577R-SC41-24VP				
		GP577R-TC11				
		GP577R-TC41-24VP				

- 1 ハンディタイプ GP 用のプロジェクトファイル (*.prw) は、変換後、ハンディタイプではない GP 用のプロジェクトファイル (*.prx) に変わりますので、オペレーションスイッチやファンクションスイッチの設定部分は変換されません。
- 2 変換すると、表示ドット数が 640 × 480(VGA) の表示器タイプに変更されます。
- 3 ビデオウィンドウ表示機能 (V タグ) は変換されません。

GP2000 シリーズ

変換元				変換先			
シリーズ名		型式	GP タイプ	表示器タイプ			
GP2000 シリーズ	GP2000H シリーズ	GP-2301H シリーズ	GP2301H-LG41-24V	GP2301HL	AGP-3301L 1 2		
			GP2301H-SC41-24V	GP2301HS	AGP-3301S 1 2		
	GP-2401H シリーズ	GP2401H-TC41-24V	GP2401H	GP2401H	AGP-3400S 1 2		
					AGP-3400S 1 2		
	GP-2300 シリーズ	GP2300-LG41-24V	GP2300	GP2300L	AGP-3300L		
					GP2300-TC41-24V	GP2300	AGP-3300T
	GP-2301 シリーズ	GP2301-LG41-24V	GP2301	GP2301L	AGP-3301L		
					GP2301-SC41-24V	GP2301S	AGP-3301S
					GP2301-TC41-24V	GP2301	AGP-3301S
	GP-2400 シリーズ	GP2400-TC41-24V	GP2400	GP2400	AGP-3400T		
	GP-2401 シリーズ	GP2401-TC41-24V	GP2401	GP2401	AGP-3400S		
	GP-2500 シリーズ	GP2500-TC11	GP2500	GP2500	AGP-3500T ³		
					GP2500-TC41-24V	GP2500	AGP-3500T ³
	GP-2501 シリーズ	GP2501-SC11	GP2501	GP2501S	AGP-3500S		
					GP2501-TC11	GP2501	AGP-3500T
GP-2600 シリーズ	GP2600-TC11	GP2600	GP2600	AGP-3600T ³			
				GP2600-TC41-24V	GP2600	AGP-3600T ³	
GP-2601 シリーズ	GP2601-TC11	GP2601	GP2601	AGP-3600T			

- 1 ハンディタイプ GP 用のプロジェクトファイル (*.prw) は、変換後、ハンディタイプではない GP 用のプロジェクトファイル (*.prx) に変わりますので、オペレーションスイッチやファンクションスイッチの設定部分は変換されません。
- 2 GP2000H シリーズ専用のバイブレーション機能は変換できません。
- 3 ビデオウィンドウ表示機能 (V タグ) は変換されません。

GLC シリーズ

変換元			変換先	
シリーズ名	型式		表示器タイプ	
GLC シリーズ	GLC100S シリーズ	GLC100-SC41-24V	AGP-3300S-FN1M	
	GLC100L シリーズ	GLC100-LG41-24V	AGP-3300L-FN1M	
	GLC300 シリーズ	GLC300-TC41-24V	AGP-3500T-FN1M	
	GLC2300L シリーズ	GLC2300-LG41-24V	AGP-3300L-FN1M	
	GLC2300 シリーズ	GLC2300-TC41-24V	AGP-3300T-FN1M	
	GLC2400 シリーズ	GLC2400-TC41-24V	AGP-3400T-FN1M	
	GLC2500 シリーズ	GLC2500-TC41-24V	GLC2500	AGP-3500T-FN1M
		GLC2500-TC41-200V		
GLC2600 シリーズ	GLC2600-TC41-24V	GLC2600	AGP-3600T-FN1M	
	GLC2600-TC41-200V			

ST400 シリーズ

変換元				変換先
シリーズ名	型式	GP タイプ		表示器タイプ
ST400 シリーズ	ST400	ST400-AG41-24V	ST400	AGP-3302B ¹
	ST401	ST401-AG41-24V	ST401	
	ST402	ST402-AG41-24V	ST402	
	ST403	ST403-AG41-24V	ST403	変換されません

- 1 ST400 シリーズのファンクションキーの設定部分は変換されません。

2.1.3 変換前、変換後の接続機器名一覧

GP-PRO/PBIII for Windows で作成されたプロジェクトファイル (*.prw) 上の [接続機器] は変換後、名称が変わります。また、一部の接続機器は変換されません。ご注意ください。

重要

- 変換後、GP タイプの名称も変わります。

☞ 「2.1.2 変換前、変換後の GP 機種名一覧」(2-2 ページ)

- GP-PRO、GP-PRO、GP-PRO、GP-PRO/PB (DOS 版)、Parts Box で作成されたプロジェクトファイルは、GP-PRO/PBIII for Windows にて画面データを *.prw に変換した上で GP-Pro EX のプロジェクトコンバータを実行してください。

☞ GP-PRO/PBIII for Windows オペレーションマニュアル「第 12 章 従来データの利用」

メーカー名	GP-PRO/PBIII for Windows Ver.7.0 までの接続機器名	GP-Pro Ex での接続機器名
(株) デジタル	メモリリンク SIO タイプ	メモリリンク
	メモリリンク Ethernet タイプ	
三菱電機 (株)	三菱電機 MELSEC-AnN (LINK)	A シリーズ 計算機リンク
	三菱電機 MELSEC-AnN(CPU)	A シリーズ CPU 直結
	三菱電機 MELSEC-AnA(LINK)	A シリーズ 計算機リンク
	三菱電機 MELSEC-AnA(CPU)	A シリーズ CPU 直結
	三菱電機 MELSEC-A(JPCN1)	変換されません
	三菱電機 MELSEC-A(ETHER)	A シリーズ イーサネット
	三菱電機 MELSEC-F2 シリーズ	変換されません
	三菱電機 MELSEC-FX(CPU)	FX シリーズ CPU 直結
	三菱電機 MELSEC-FX 2(LINK)	FX シリーズ 計算機リンク
	三菱電機 MELSEC-FX(CPU2)	FX シリーズ CPU 直結
	三菱電機 MELSEC-FX 1:N 通信	FX シリーズ 計算機リンク
	三菱電機 MELSEC-QnA (LINK)	Q/QnA シリアルコミュニケーション
	三菱電機 MELSEC-QnA (CPU)	QnA シリーズ CPU 直結
	三菱電機 MELSEC-Q (CPU)	Q シリーズ CPU 直結
	三菱電機 MELSEC-QUTE (CPU)	QUTE シリーズ CPU 直結
	三菱電機 MELSEC-Q (ETHER)	Q/QnA シリーズ イーサネット
	三菱電機 MELSECNET/10	変換されません
	三菱電機 FREQROL シリーズ	
三菱電機 CC-Link タイプ		
	三菱電機 CC-Link インテリジェントデバイス	
オムロン (株)	オムロン SYSMAC-C シリーズ	C/CV シリーズ 上位リンク
	オムロン SYSMAC-C 1:n 通信	
	オムロン SYSMAC-CV シリーズ	
	オムロン SYSMAC-CS1 シリーズ	CS/CJ シリーズ 上位リンク
	オムロン SYSMAC-CS1 (ETHER)	CS/CJ シリーズ イーサネット
オムロン THERMAC NEO シリーズ	調節器 CompoWay/F	
シャープ (株)	シャープ ニューサテライト JW シリーズ	JW シリーズ コンピュータリンク
横河電機 (株)	横河電機 FACTORY ACE 1:1 通信	パソコンリンク SIO
	横河電機 FACTORY ACE 1:n 通信	
	横河電機 FA-M3 (ETHER)	パソコンリンク イーサネット
	横河電機 FCN/FCJ Modbus RTU 1:n	変換されません

次のページに続きます。

メーカー名	GP-PRO/PBIII for Windows Ver.7.0 までの接続機器名	GP-Pro Ex での接続機器名
富士電機 (株)	富士電機 MICREX-F シリーズ	MICREX-F シリーズ SIO
	富士電機 MICREX-F シリーズ (T リンク)	変換されません
	富士電機 MICREX-F シリーズ (FLT)	
	富士電機 FLEX-PC (LINK)	
	富士電機 FLEX-PC (CPU)	
	富士電機 MICREX-SX シリーズ	
	富士電機 インバータ	
	富士電機 温度調節計 PXR	
豊田工機 (株)	豊田工機 TOYOPUC-PC2 シリーズ	TOYOPUC CMP-LINK SIO
	豊田工機 TOYOPUC-PC2 1:n 通信	
	豊田工機 TOYOPUC-PC3J シリーズ	
	豊田工機 TOYOPUC-PC3J 1:n 通信	
(株) 安川電機	安川電機 Memocon-SC シリーズ	変換されません
	安川電機 GL120/130 シリーズ	
	安川電機 PROGIC8 シリーズ	
	安川電機 MP2000/MP900/CP9200SH	MEMOBUS SIO
	安川電機 MP2000/MP920 (ETHER)	MEMOBUS イーサネット
	安川電機 インバータ	変換されません
	安川電機 MP Panel シリーズ	
(株) 日立製作所	日立製作所 HIDIC-S10 シリーズ	変換されません
	日立製作所 HIDIC-S10 (JPCN/1)	
	日立製作所 HIZAC-EC シリーズ	
	日立製作所 S10V シリーズ (ETHER)	
(株) 日立産機システム	日立産機システム HIDIC-H シリーズ	HIDIC H シリーズ SIO
	日立産機システム HIDIC-H2 シリーズ	変換されません
	日立産機システム HIDIC H (ETHER)	HIDIC H シリーズ イーサネット
	日立産機システム SJ300/L300P インバータ	変換されません
(株) 東芝	東芝 PROSEC-EX2000 シリーズ	
	東芝 PROSEC-T シリーズ	
	東芝 PROSEC-T (ETHER)	
松下電工 (株)	松下電工 MEWNET-FP シリーズ	FP シリーズ コンピュータリンク SIO
光洋電子工業 (株)	光洋電子 KOSTAC-SG8 シリーズ	変換されません
	光洋電子 KOSTAC-SR21/22 シリーズ	
	光洋電子 DL205/405 シリーズ	
	光洋電子 DL305 シリーズ	
東芝機械 (株)	東芝機械 TC200 シリーズ	
	東芝機械 TC200-S シリーズ	
GE Fanuc Automation	GE ファナックシリーズ 90 SNP-X	シリーズ 90-30/70 SNP-X
	GE ファナックシリーズ 90-30/70 SNP	シリーズ 90-30/70 SNP
	GE ファナックシリーズ 90-30/70 (ETHER)	Series90 Ethernet

次のページに続きます。

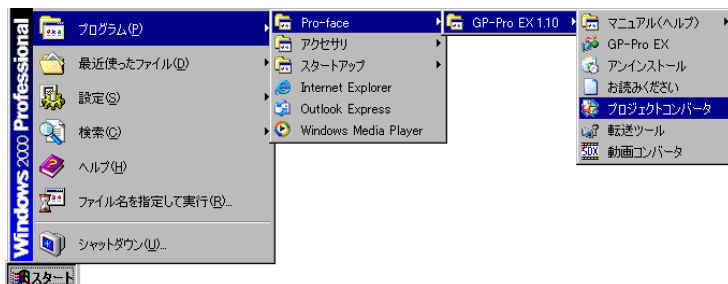
メーカー名	GP-PRO/PBIII for Windows Ver.7.0 までの接続機器名	GP-Pro Ex での接続機器名
ファナック (株)	FANUC Power Mate シリーズ	変換されません
和泉電気 (株)	和泉電気 IDEC_1	
	和泉電気 IDEC_2	
	和泉電気 IDEC_3	
	和泉電気 MICRO3	
	和泉電気 FC3/FC4A シリーズ	
SIEMENS	SIEMENS S5 90-115 シリーズ	
	SIEMENS S5 135-155 シリーズ	
	SIEMENS S5 3964 (R) プロトコル	
	SIEMENS S7 200 PPI	
	SIEMENS S7 200 via MPI	SIMATIC S7 MPI 直結
	SIEMENS S7 300/400 via MPI	
	SIMATIC S7 via 3964/RK512	SIMATIC S7 3964(R)/RK512
	SIEMENS S7 via 300/400 Ethernet	SIMATIC S7 イーサネット
Rockwell (Allen-Bradley)	SIMATIC 545/555 CPU	変換されません
	Allen Bradley PLC-5	DF1
	Allen Bradley SLC5/03、SLC5/04	
	Allen Bradley Control Logix DF1	
	AB PLC-5 DataHighway+	変換されません
	AB SLC500 DH485	DH-485
	AB Remote I/O	変換されません
	Allen Bradley SLC505 Ethernet	EtherNet/IP
Allen Bradley Control Logix Ethernet		
(株) キーエンス	キーエンス KZ-300 シリーズ	変換されません
	キーエンス KZ-A500 シリーズ (CPU)	
	キーエンス KZ-A500 シリーズ	
	キーエンス KV-10/16/24/40 シリーズ	
	キーエンス KV-10_80RW シリーズ	
	キーエンス KV-700 シリーズ (CPU)	KV-700/1000 シリーズ CPU 直結
神鋼電機 (株)	神鋼電機 SELMART シリーズ	変換されません
松下電器産業 (株)	松下電器産業 Panadac-7000 シリーズ	
	松下電器産業 MINAS-A/S シリーズ	
Modicon Corp.	Modicon Modbus Master	Schneider Electric MODBUS SIO マスタ
	Modicon Modbus (Slave)	変換されません
	Modicon Modbus (Plus)	
FATEC	FATEK FACON FB	変換されません
オリムベクスタ (株)	E1 シリーズ	
PROFIBUS	PROFIBUS-DP	PROFIBUS DP スレーブ
Device Net	Device Net Slave I/O	変換されません
INTERBUS	INTERBUS-SLAVE	
JPCN/1	JPCN/1(標準)	
(株) 山武	山武 温調計 SDC シリーズ	
理化工業 (株)	理化工業 CB/SR-Mini シリーズ (MODBUS)	調節計 MODBUS SIO
	理化工業 CB/REX-F/LE100 シリーズ (RKC)	調節計 RKC SIO

次のページに続きます。

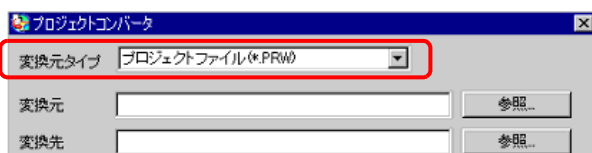
メーカー名	GP-PRO/PBIII for Windows Ver.7.0 までの接続機器名	GP-Pro Ex での接続機器名
神港テクノス(株)	神鋼テクノス調節計	変換されません
東邦電子(株)	調節計 TTM シリーズ	
日本フェンオール(株)	日本フェンオール AL シリーズ	
ジェイティエンジニアリング (株)	JTE 分析計	
(株)明電舎	明電舎 (ETHERNET)	
(株)シマデン	シマデン制御機器	
(株)チノー	チノー調節計 (MODBUS)	
Schneider Electric	Schneider TSX via Uni-Telway	Uni-Telway
	Schneider Modbus RTU 1:n	MODBUS SIO マスタ
	Schneider Modbus Ethernet	MODBUS TCP マスタ
東芝シュネデール・インバータ (株)	東芝シュネデール インバータ	変換されません
Ubon	UbonUPZ シリーズ	
日置電機(株)	日置電機 Smart Site(MODBUS TCP)	

2.1.4 プロジェクトコンバータ操作手順

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム (P)](Windows®XP では「すべてのプログラム (P)」)、[Pro-face]、[GP-Pro EX 1.10] の順に選択し、[プロジェクトコンバータ] をクリックします。

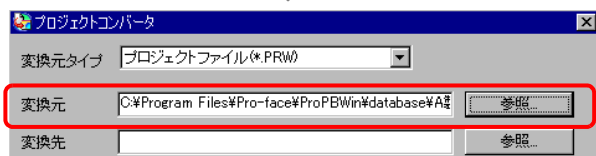
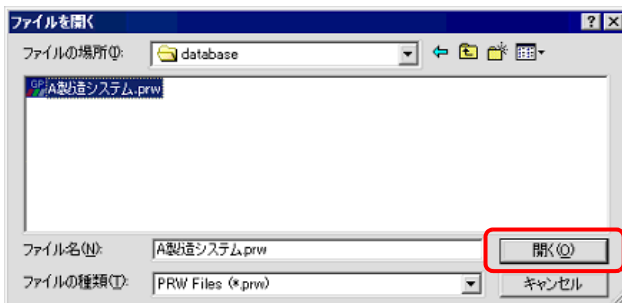
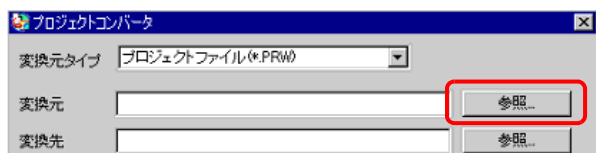


- 2 プロジェクトコンバータが起動して、[プロジェクトコンバータ] ダイアログボックスが開きます。
[変換元] タイプに、[プロジェクトファイル (*.PRW)] を選択します。

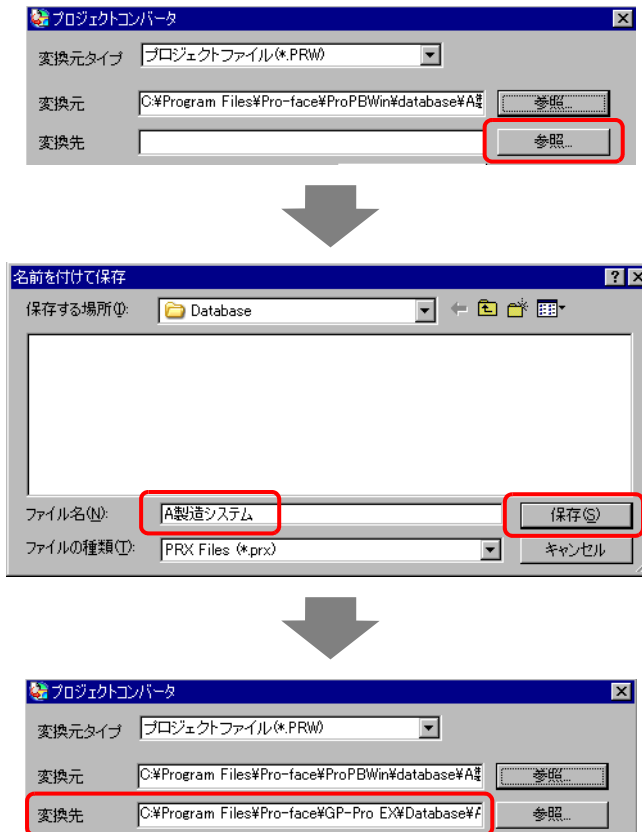


- MEMO**
- Pro-Control Editor のファイルを変換する場合は、[ロジックファイル (*.wll)] を選択します。部分プログラムファイル (*.wlp) やサブルーチンプログラムファイル (*.wlf) をコンバートするには、GP-PRO/PBIII でプロジェクトファイル形式 (*.prw) に保存しなおしてからコンバートしてください。

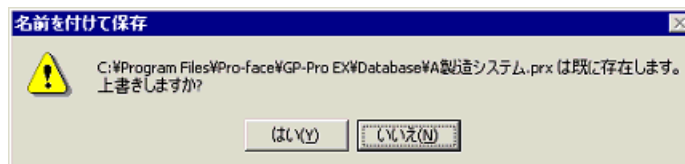
- 3 [変換元] に、GP-PRO/PBIII for Windows のプロジェクトファイル (*.prw) を指定します。[参照] ボタンをクリックして任意のプロジェクトファイル (例「A 製造システム .prw」) を選択し [開く (O)] をクリックすると [変換元] に指定されます。

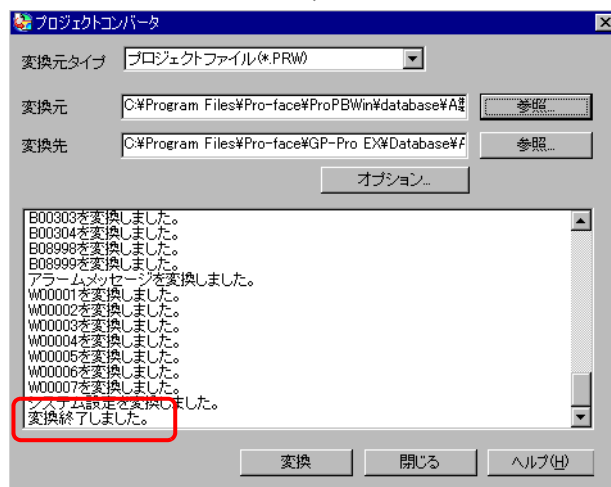
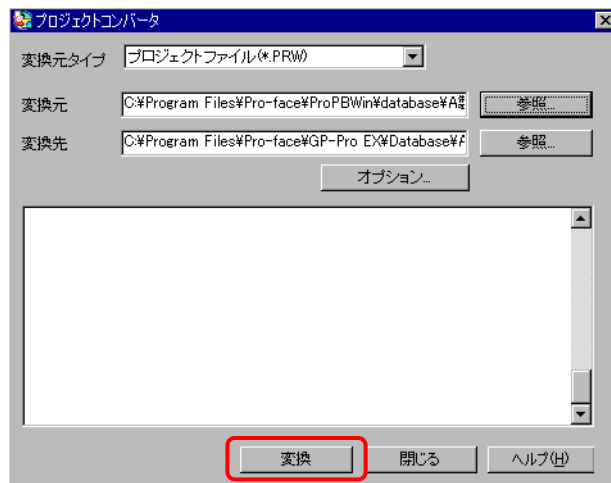


- 4 [変換先]には、GP-Pro EX のプロジェクトファイル (*.prx) を指定します。[参照] ボタンをクリックして[ファイル名] (例「A 製造システム .prx」) を新規で入力し、**保存(S)** をクリックすると、[変換先] に新規プロジェクトファイルが指定されます。



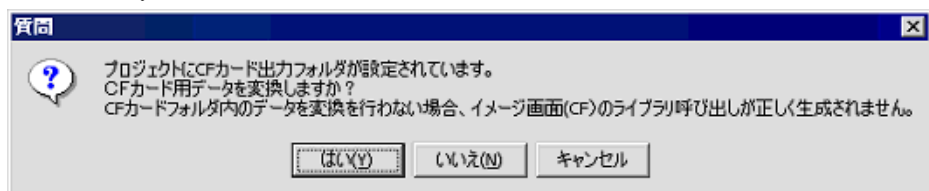
- MEMO** ・ すでに変換先のファイルが存在する場合、ファイルを上書きするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。



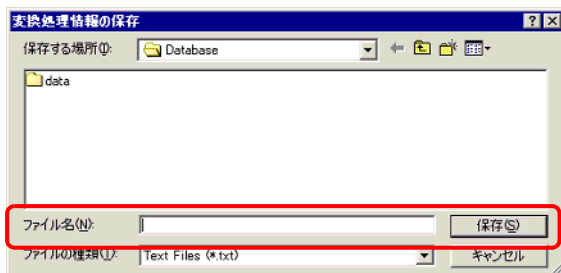
5 **変換** をクリックしてコンバートを開始します。

MEMO ・ 次のようなダイアログボックスが表示される場合は、CF カード出力フォルダの設定が必要です。

☞ 「 GP-PRO/PBIII for Windows の「CF カードデータ出力フォルダ」指定先の変換」(2-12 ページ)

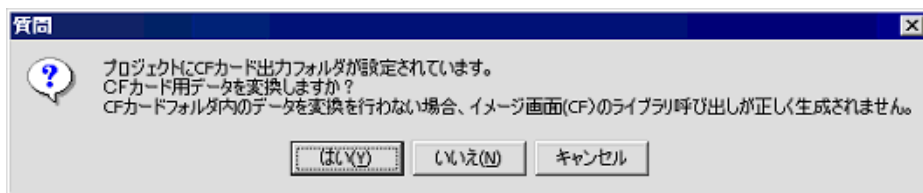


- 6 変換後、[変換処理情報の保存] ダイアログボックスが表示されます。**保存(S)** をクリックすれば、変換した内容をテキストファイルに残すこともできます。ここでは、[ファイル名(N)]を入力して **保存(S)** をクリックします。**キャンセル** をクリックすると、変換内容をテキストファイルに保存せず、[プロジェクトコンバータ]ダイアログボックスに戻ります。



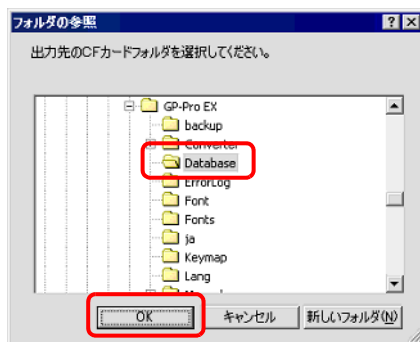
- 7 [プロジェクトコンバータ]ダイアログボックスを **閉じる** で終了します。

GP-PRO/PBIII for Windows の「CF カードデータ出力フォルダ」指定先の変換先の手順 5 にて、CF カードデータ出力フォルダを指定していたプロジェクトファイル (*.prw) を変換する場合、変換先でも CF カードデータ出力フォルダを指定するかどうか、質問が表示されます。



フォルダ (例「Database」) を選択して [OK] をクリックします。

[新しいフォルダ(N)] ボタンをクリックすれば、任意の場所に参照フォルダを作成できます。



重要

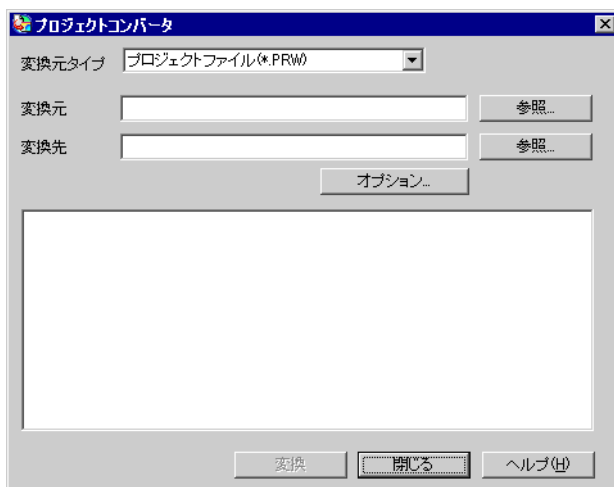
- [質問] ダイアログボックスでは、必ず「はい」を選択して変換先フォルダを指定してください。「いいえ」を選択するとイメージ呼び出しが正しく表示されません。

2.1.5 プロジェクトコンバータの設定ガイド

GP-PRO/PBIII for Windows および Pro-Control Editor で作成したファイルを GP-Pro EX のプロジェクトファイルに変換します。

- 重要** • GP-Pro EX で作成したデータを GP-PRO/PBIII for Windows および Pro-Control Editor のファイルに変換することはできません。

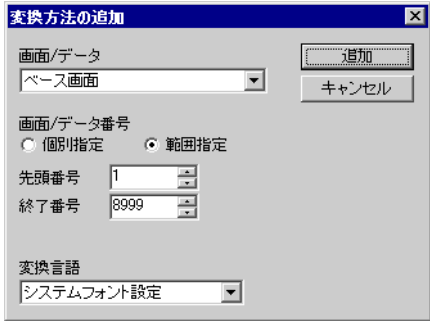
プロジェクトコンバータ



設定項目	設定内容
変換元タイプ	変換するファイルのタイプを「プロジェクトファイル」、「部品ファイル」、「CF カードデータ」、「ロジックファイル」から選択します。
変換元	<p>「参照」をクリックして、変換するファイルを選択します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 「変換元タイプ」で「CF カードデータ」を選択した場合、CF カード出力フォルダの設定が必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 「 GP-PRO/PBIII for Windows の「CF カードデータ出力フォルダ」指定先の変換」(2-12 ページ)
変換先	<p>「参照」をクリックして、保存する場所とファイル名を設定します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 「変換元タイプ」で「CF カードデータ」を選択した場合、CF カード出力フォルダの設定が必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 「 GP-PRO/PBIII for Windows の「CF カードデータ出力フォルダ」指定先の変換」(2-12 ページ)
オプション	<p>オプション設定のダイアログボックスを表示します。</p> <p>☞ 「 オプション」(2-14 ページ)</p>

オプション



設定項目	設定内容
文字列変換設定	変換対象となる画面またはデータを個別に設定します。
基準言語	変換の基準となる言語を [システムフォント設定]、[欧米]、[韓国語]、[中国語（繁体字）]、[中国語（簡体字）]、[日本語] から選択します。
フォントタイプ	[標準フォント] または [ストロークフォント] を選択します。
変換方法の追加	<p>[追加] をクリックして、[変換方法の追加] ダイアログボックスを表示します。</p>  <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定を削除する場合は、[変換方法の追加] 一覧に表示された項目から削除したい行を選択し、[削除] をクリックします。
画面 / データ	変換する画面またはデータを指定します。[ベース画面]、[マーク画面]、[折れ線グラフ画面]、[キーボード画面]、[テキスト画面]、[ウィンドウ画面]、[イメージ画面]、[サウンド設定]、[グローバルDスクリプト]、[拡張SIOスクリプト]、[Dスクリプト関数]、[データサンプリング]、[ファイリングデータ]、[ログ設定]、[CSVデータ転送機能]、[アラームメッセージ/サマリ]、[ビットログアラーム]、[ワードログアラーム]、[ロジックデータ] から選択します。
画面 / データ番号	<ul style="list-style-type: none"> 個別指定 変換する画面またはデータの番号を指定します。 範囲指定 変換する画面またはデータの [先頭番号] と [終了番号] を 1 ~ 8999 で指定します。
変換言語	[システムフォント設定]、[欧米]、[韓国語]、[中国語（繁体字）]、[中国語（簡体字）]、[日本語] から選択します。
GLC 変数変換設定	[リアル変数] または [フロート変数] を指定します。

2.1.6 エラーメッセージ

プロジェクトコンバータ操作中に表示されるエラーメッセージと、その原因・対処方法を示します。

変換できない接続機器が選択されています。接続機器を変更してから変換して下さい。

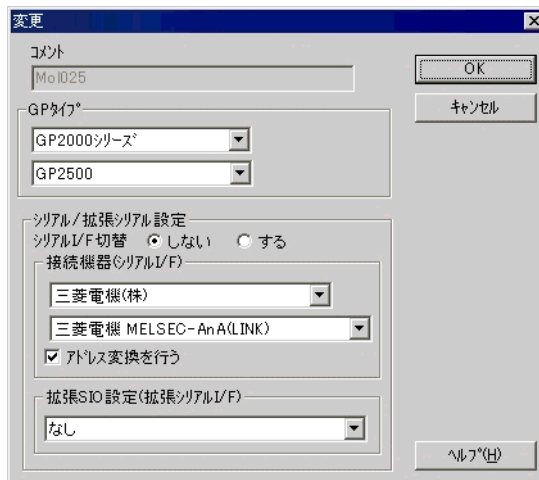
GP-Pro Ex で対応していない接続機器タイプが選択されています。GP-PRO/PBIII for Windows にて GP-Pro Ex で対応している接続機器に変更してから再度プロジェクトコンバータを実行させてください。GP-Pro Ex で対応している接続機器については「2.1.3 変換前、変換後の接続機器名一覧」(2-5 ページ)を参照してください。

• GP-PRO/PBIII for Windows での [接続機器] 変更方法

- (1) GP-PRO/PBIII for Windows のプロジェクトマネージャーにて [接続機器] のアイコンを選択します。



- (2) [変更] ダイアログボックスが表示されますので、変更したい [接続機器] を選択します。なお [接続機器タイプ] を変更したあとは、デバイスアドレスの設定を必ず確認してください。



変換元のPLCファイルが読み込めません。

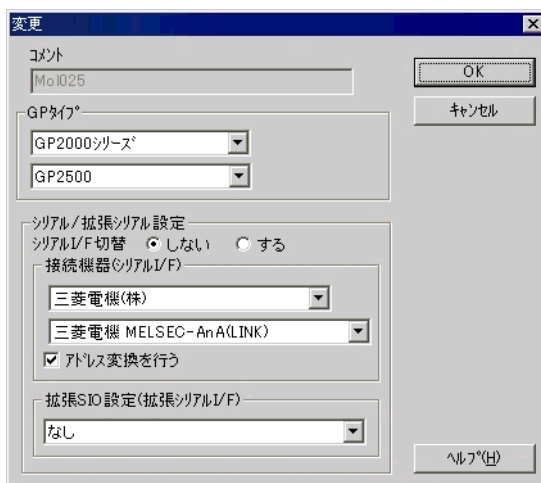
変換元の接続機器タイプを認識できません。GP-PRO/PBIII for Windows にて GP-Pro Ex で対応している接続機器タイプに変更してから再度プロジェクトコンバータを実行させてください。GP-Pro Ex で対応している接続機器については「2.1.3 変換前、変換後の接続機器名一覧」(2-5 ページ)を参照してください。

• GP-PRO/PBIII for Windows での [接続機器] 変更方法

- (1) GP-PRO/PBIII for Windows のプロジェクトマネージャーにて [接続機器] のアイコンを選択します。



- (2) [変更] ダイアログボックスが表示されますので、変更したい [接続機器] を選択します。なお、[接続機器タイプ] を変更したあとは、デバイスアドレスの設定を必ず確認してください。



変換できない機種タイプが選択されています。機種タイプを変更してください。

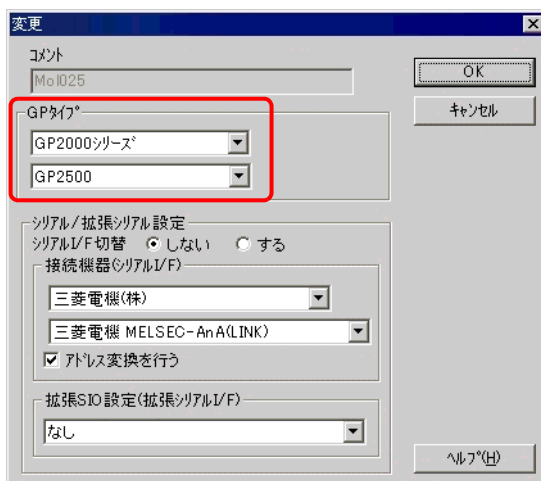
GP-Pro Ex では対応していない表示器タイプが選択されています。GP-PRO/PBIII for Windows にて GP-Pro Ex で対応している GP タイプへ変更してから再度プロジェクトコンバータを実行させてください。対応している機種については「2.1.2 変換前、変換後の GP 機種名一覧」(2-2 ページ)を参照してください。

• GP-PRO/PBIII for Windows での [GP タイプ] 変更方法

- (1) GP-PRO/PBIII for Windows のプロジェクトマネージャーにて [GP タイプ] のアイコンを選択します。



- (2) [変更] ダイアログボックスが表示されますので、変更したい [GP タイプ] を選択します。なお、変換前の GP と変換後の GP では機能が異なる場合がありますのでご注意ください。



機種情報ファイルが読み込めません。

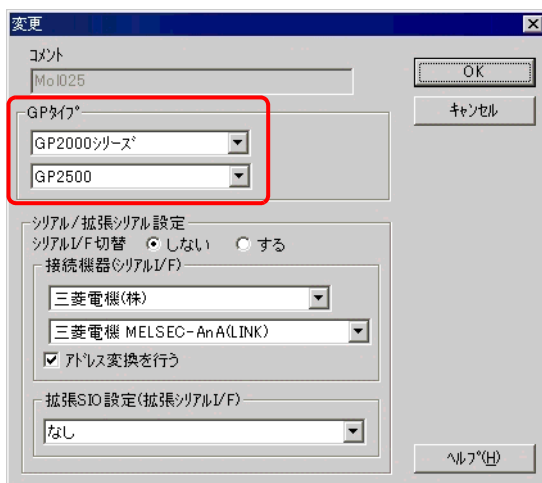
変換元の GP 機種が認識できません。GP-PRO/PBIII for Windows にて GP-Pro Ex で対応している GP タイプへ変更してから再度プロジェクトコンバータを実行させてください。対応している機種については「2.1.2 変換前、変換後の GP 機種名一覧」(2-2 ページ)を参照してください。

• GP-PRO/PBIII for Windows での [GP タイプ] 変更方法

(1) GP-PRO/PBIII for Windows のプロジェクトマネージャーにて [GP タイプ] のアイコンを選択します。



(2) [変更] ダイアログボックスが表示されますので、変更したい [GP タイプ] を選択します。なお、変換前の GP と変換後の GP では機能が異なる場合がありますのでご注意ください。



AGPCnv.cfg ファイルが読み込めません。

GP-Pro EX の AGPCnv.cfg ファイルをロードするのに失敗しました。再度、GP-Pro EX をインストールしなおしてください。

PRW ファイルが読み込めません。

GP-PRO/PBIII for Windows のファイル (*.PRW) の読み込みに失敗しました。GP-PRO/PBIII for Windows のファイル (*.PRW) に Microsoft Windows のアクセス権が設定されている可能性があります。エクスプローラにてファイルのプロパティを確認し、アクセス権の設定を確認してください。

部品ファイルへアクセスできませんでした

GP-PRO/PBIII for Windows の部品ファイル (*.PDB または *.BPD) の読み込みに失敗しました。GP-PRO/PBIII for Windows の部品ファイル (*.PDB または *.BPD) に Microsoft Windows のアクセス権が設定されている可能性があります。エクスプローラにてファイルのプロパティを確認し、アクセス権の設定を確認してください。

拡張子が正しくありません。

プロジェクトコンバータの [変換先] で不正な拡張子が指定されています。正しい拡張子 (*.prx) を入力してください。

2.2 ソフトウェアの更新方法

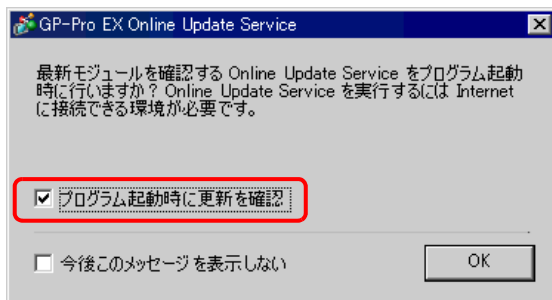
ここでは、GP-Pro EX を更新（アップデート）するための操作方法を説明します。ソフトウェアのほか、マニュアルやドライバの更新プログラムも提供されます。

- MEMO**
- GP-Pro EX の更新にはオンラインアップデート機能を使用します。インターネットに接続できる環境が必要です。
 - この操作手順に掲載している画面の内容は予告なく変更されますのでご了承ください。

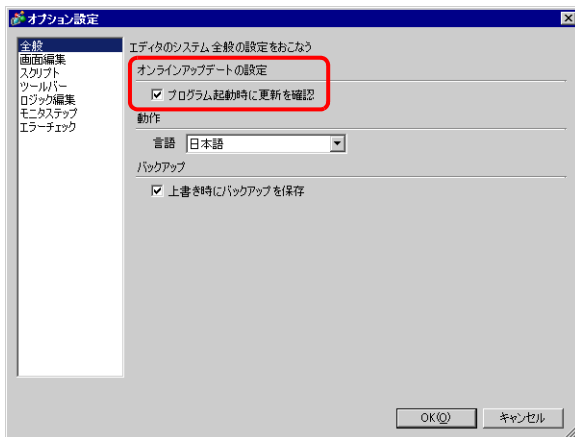
2.2.1 オンラインアップデート操作手順

1 [ヘルプ (H)] メニューから [GP-Pro EX の更新を確認 (U)] を選択します。

- MEMO**
- GP-Pro EX 起動時には次のようなダイアログボックスが表示されます。次回の GP-Pro EX 起動時から、起動するたびにオンラインアップデート機能も自動的に起動させる場合は [プログラム起動時に更新を確認] にチェックを入れたまま [OK] をクリックしてください。
- 手順 1 の要領で必要な折りに更新を確認したい場合はチェックをはずして [OK] をクリックしてください。



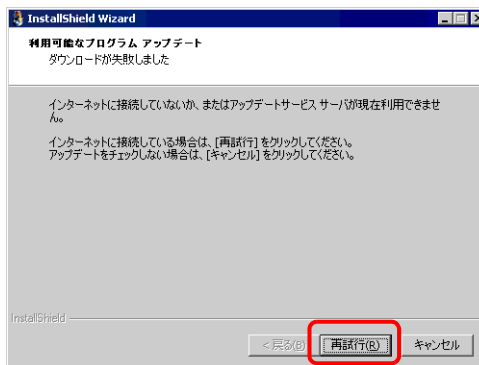
GP-Pro EX 起動時にオンラインアップデート機能を起動させる設定は、通常、次の設定で行います。[表示 (V)] から [オプション設定 (O)] の [全般] を選択し、[プログラム起動時に更新を確認] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。



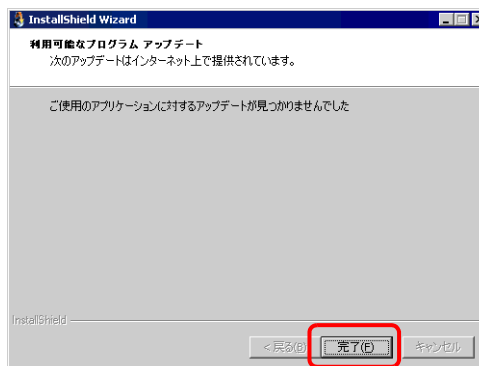
- 2 ご使用のパソコンに更新が必要なプログラムがあるかどうかインターネットを經由して検索します。
 (検索中は [InstallShield Wizard] ダイアログボックスが表示されます。)
 [アップデートサービスへようこそ] 画面が表示されたら、[利用可能なアップデート] または [アップデートの表示] ボタンをクリックします。

**MEMO**

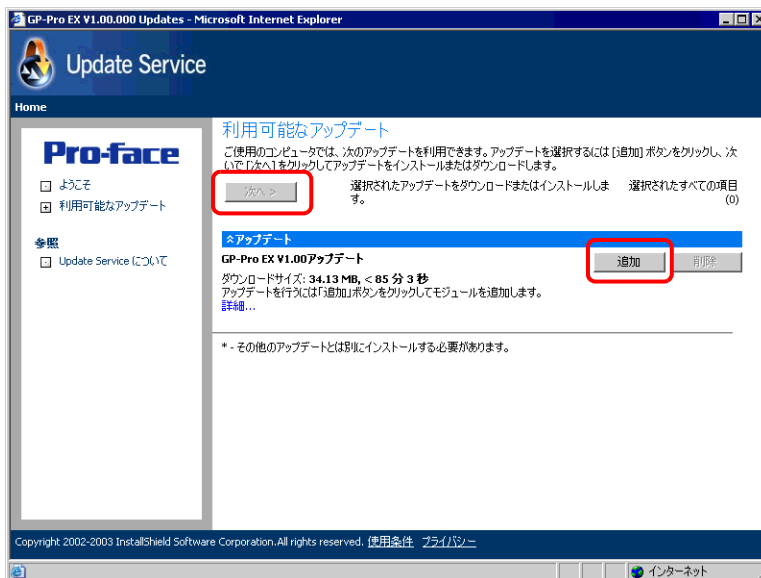
- インターネットに接続されていない場合、次のようなエラーが出ます。接続した上で [再試行] ボタンをクリックしてください。GP-Pro EX 起動時の検索では表示されません。



- 検索後、更新プログラムが0件の場合、次のダイアログボックスが出ます。[完了] ボタンをクリックして終了してください。GP-Pro EX 起動時の検索では表示されません。



- 3 [利用可能なアップデート]画面が表示され、更新プログラムが確認できます。
更新したい項目を[追加]ボタンで選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

**MEMO**

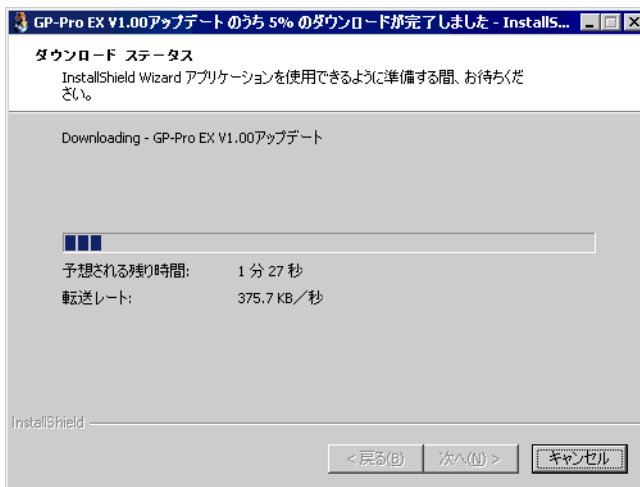
- **▼アップデート** を展開すると、更新プログラムを確認できます。下向き矢印がついている場合、矢印をクリックして展開してください。
- 上記 [利用可能なアップデート] 画面のアップデート項目は一例です。
ご使用のパソコン上で確認できる項目が最新の更新プログラムになります。

- 4 [選択されたすべての項目] 画面が表示されます。選択されたすべての項目を自動的にインストールする方法と、項目ごとに個別にインストールする方法があります。



MEMO • GP-Pro EX のプロジェクトファイルを閉じた状態でインストールしてください。

- [今すぐインストールする] ボタンをクリックする
 選択したすべての更新プログラムのインストールを自動的に開始します。
 更新プログラムのダウンロード終了後、[次へ] をクリックするとインストールを開始します。
 ウィザードの指示に従って進んでください。
 インストールを取り止める場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。



- [ダウンロード] ボタンをクリックする
 選択した更新プログラムのインストールを個別に行います。[ダウンロード] ボタンをクリックして更新プログラムの保存先を指定し [保存] ボタンをクリック、次に [完了] ボタンをクリックしてウィザードを終了します。保存した更新プログラム (*.exe) をダブルクリックすると自動的にインストールが開始されます。

- 5 これでソフトウェアなどの更新プログラムのインストールが完了しました。
マニュアルの更新プログラムのインストール完了時には、「セットアップが完了しました」と表示されますので [OK] をクリックして終了します。



Memo